

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	038 特別職報酬等審議会事務					
予算科目	01-020102-80			担当部課	総務部人事課	
市長公約				係名	人事係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市特別職報酬等審議会条例			SDGs		

事業の概要

対象	市長、副市長、教育長及び市議会議員
目的	市長、副市長及び教育長の給料並びに議員報酬及び政務調査費の適正額を確保する。
概要 (取組内容)	市長の諮問に応じ、市長、副市長及び教育長の給料の額並びに議員報酬及び政務調査費の額を審議する。 つくば市特別職報酬等審議会で決定した内容を市長に答申する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	680	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	周辺自治体における特別職報酬審議会の開催状況などを調査した。	
成果	令周辺自治体の調査を踏まえ、審議会委員報酬等の予算化、市民委員の公募手続きや委員候補者の選定など令和3年度の開催に向けた準備を行った。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	特別職報酬審議会を開催し、議員報酬について審議し、適正額を確保するため。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	040 職員研修事業					
予算科目	01-020102-11			担当部課	総務部人事課	
市長公約	12	17	18	係名	人材育成係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	研修実施計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方公務員法、つくば市職員研修規則			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	職員
目的	時代に即応する公務員たる資質を備えさせる。
概要 (取組内容)	職員が地域の実情に応じた行政課題について、責任をもって当該対応策を自主的に選択し、創意工夫して取り組むことのできる自己能力開発と資質向上の行動を積極的に支援する。 ※行政改革アクションプラン「28 職員研修事業」該当事業

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	26,696	26,696	26,696	
	決算額	(千円)	24,221	14,975	14,123	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	24,167	14,975	14,123	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	54	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	15,008	13,734	12,028	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	2.00	1.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	360.00	68.00	744.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	基本研修の役立ち度（フォローアンケート結果）（ % ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	91.4	91.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	94.7	92.6	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	※行政改革アクションプラン「28 職員研修事業」該当指標						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度の基本研修は、オンライン研修やテキスト配布型の研修など研修手法を増やした結果、研修終了率は前年度より向上することができた。	
成果	新型コロナウイルス感染症対策により、集合型研修など研修実施に制限がかかったが、オンライン研修やテキスト配布型の研修などの手法を活用し、職員の研修機会が失われないようにすることができた。	
課題	業務	オンライン研修の受講端末や通信環境が整っていないため、研修環境の整備を検討する必要がある。
	組織、予算等	費用対効果を高めるため、現在行っている研修を精査し、研修の統廃合を検討する必要がある。
改善目標	受講端末の確保、通信環境の改善、自宅での受講の運用など、オンライン研修をはじめとする受講方法の多様性を確保するとともに、研修科目の見直しを行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	042 職員の給与・福利厚生事務					
予算科目	01-020102-12			担当部課	総務部人事課	
市長公約				係名	給与・厚生係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市職員の給与に関する条例、地方公務員等共済組合法、市町村職員退職手当条例、健康保険法、他			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	職員
目的	公務能率の増進
概要 (取組内容)	給与・各種手当の支給、給与からの控除、団体保険に関すること、年末調整、給与予算編成、会計年度任用職員予算令達 等 退職手当に関すること、共済保険証関係（就職・退職・扶養など）に関する事務、職員の病気等の給付事務、共済年金に関する事務、職員互助会に関する事務、公務災害に関すること、会計年度任用職員の社会保険・雇用保険に関する手続 等

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	48,897	48,897	48,897	
	決算額	(千円)	0	265,035	47,436	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	265,035	47,436	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	27,207	23,629	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	3.70	3.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	857.00	1,315.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	委託業者と市との業務に関する共通理解を図るため、積極的な情報の共有を行った。	
成果	給与、厚生各事務について、委託業者との連携のもと、事業計画のとおり遅滞なく実施できた。	
課題	業務	委託業者と市との間で正確かつ円滑な事務執行ができるよう、常に業務体制の整理を行っていく必要がある。
	組織、予算等	さらなる業務の効率化を推し進めるよう、委託業者との連携強化を行っていく必要がある。
改善目標	引き続き委託業者と市との連携を密にし、業務管理を行うとともに、さらなる業務の改善・事務の効率化を推し進めるよう、働きかけを行っていく。	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	043 職員採用試験事業					
予算科目	01-020102-13			担当部課	総務部人事課	
市長公約				係名	人事係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方公務員法			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	市民、市外在住の人
目的	継続的な市政運営体制を維持し、住民福祉の向上を図る。
概要 (取組内容)	<p>事務職のみならず、専門職等の即戦力となる人材及び次世代のつくば市を担う人材を採用する。 優秀な人材を採用するため、選考を3段階に分けて実施する。</p> <p>① 1次試験 基礎能力試験等 ② 2次試験 集団面接等 ③ 最終試験 個別面談</p>

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	7,472	7,472	7,472	
	決算額	(千円)	5,860	4,690	5,327	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,860	4,690	5,327	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,473	11,650	10,331	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	1.30	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	760.00	599.00	607.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページや広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページや広報紙での情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	採用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	80.0	82.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	当該年度に実施した採用試験の結果により採用された職員数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	最終合格者のフォローアップを丁寧に行い、前年度より内定辞退率を減らすことができました。新規に職員採用のホームページを作成し、広報機能を強化した。	
成果	新型コロナウイルス感染症への対策のため、web試験等を新たに導入し、受験機会損失回避、受験者層新規開拓を行うことができた。	
課題	業務	内定辞退率をより低減させるための、試験日程等の見直しを検討する必要がある。
	組織、予算等	受験者数増加に伴い試験にかかる経費も増えるため、効率的な試験運用を検討する必要がある。
改善目標	採用試験広報用webの活用、大学でのセミナー実施、就職説明会への参加などを行い、よりつくば市に関心が高い人材の採用を図る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	044 人事制度に関する事務					
予算科目	01-020102-13			担当部課	総務部人事課	
市長公約	12			係名	人事係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方公務員法			SDGs	05ジェンダー平等を実現しよう	
					08働きがいも経済成長も	

事業の概要

対象	職員
目的	公務における規律と秩序の維持、更に職員個々の資質や能力の向上に努めることで、市民サービスの向上を図る。
概要 (取組内容)	国家公務員における人事制度の取組及び地方公務員法の趣旨をベースに、人事に関する諸制度の検討・運用を行う。 ※行政改革アクションプラン「23 つくば市定員管理指針に基づく職員数の適正化」、「24 多様な人材の確保」、「25 適材適所への人事異動」、「26 人事交流の推進」、「27 人事評価制度の活用」該当事業

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	5,198	5,198	0	
	決算額	(千円)	38,388	48,605	4,969	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	38,388	48,605	4,969	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	26,069	27,681	23,415	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.30	3.80	3.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	1,120.00	774.00	951.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページや広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	任期の定めのない常勤一般職の職員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,926.0	1,937.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1,936.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	各年度4月1日時点 前年度実績を基に次年度目標を定める。 行政改革アクションプラン23「つくば市定員管理指針に基づく職員数の適正化」						

2	指標名	事務職以外の専門職及び社会人経験者の採用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	48.0	48.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	48.0	37.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	各年度の採用者総数 前年度実績を基に次年度目標を定める。 行政改革アクションプラン24「多様な人材の確保」						
3	指標名	人事異動職員数割合 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	19.4	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	19.4	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	各年度4月1日付け人事異動(対象範囲に対する割合) 行政アクションプラン25「適材適所への人事異動」						
4	指標名	市からの派遣及び市への受入れの合計人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	34.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	36.0	34.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	各年度当初における人数 行政改革アクションプラン26「人事交流の推進」						
5	指標名	人事評価者訓練研修受講人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	512.0	113.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	512.0	113.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	平成30年度は新たに評価前訓練研修を実施し、その修了者(216人)を合算。 行政改革アクションプラン27「人事評価制度の活用」						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	職員の昇格・昇任については、人事評価結果を積極的に活用した。「会計年度任用職員制度」の運用状況を確認し、必要に応じて報酬や休暇等の見直しを行った。子育て世代がより働きやすい職場環境を整備するため、休暇制度の見直しを行った。	
成果	人事評価については、令和元年度と比較し、一般職員で評価結果が上位以上の層が約3.3%上昇した。会計年度任用職員制度については、各部署と情報交換を密にし、休暇の適切な付与や報酬単価の見直しなどを行った。子育て世代の職場環境を整備するため、産前休暇を前6週から前8週への改正、子のための看護休暇の対象が未就学児から中学校就学前までに拡大した。	
課題	業務	昇格・昇任を目指す女性職員数が少ないこと。 より透明性が高く、評価者と被評価者が円滑なコミュニケーションを図れる人事評価制度の構築。
	組織、予算等	適正な人事配置。
改善目標	女性管理職の増加を目指し、女性が管理職としてやりがいと意欲をもって活躍できる職場づくりを進めていく。性別に限らず、全ての職員がモチベーションを高く保ち、日々の業務に取り組める環境を引き続き整えていく。各部署の状況を適切に把握し、適正な職員数の確保及び人事配置に努める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—